

市場の失敗 2 . 公共財

公共財の供給を市場に委ねると、価格が人々の限界評価より低くなる可能性が大きく、したがって供給量が過少になる可能性が大きい。

I. 公共財生産への資源配分

A. 公共財の意味

1. 公共財の利用

- a. 利用の非競合性（集団利用が可能）
- b. 利用からの排除不可能（条件付の場合もある．次項参照．）

2. 公共財の供給

- a. 無料： 国防，消防，警察，基礎科学研究，道路，公園
- b. 有料： 有料道路，有料公園，日本等の公共放送

B. 最適配分の条件 —— 2 人のみの社会の例

1. 公共財 $p_1 + p_2 = MC$, p_1, p_2 はそれぞれは個人 1 , 個人 2 が支払う価格
2. 私的財 $p_1 = p_2 = MC$

II. 公共財が起こす問題とその解決策

A. 問題

1. 効率的な資源配分を実現する価格を市場で決定することができない。
2. 市場に委ねた場合，供給が過少になる恐れがある（外部経済効果に似ている．）

B. 解決策

1. リンダール（Lindahl）の解 —— 最適配分を実現するための理論上の解
 - a. 限界費用を各個人の限界評価に応じて配分する。
 - b. 実行は困難
 - (1) 限界評価をどのようにして正しく表明させるか。
 - (2) ただ乗りの可能性（フリー・ライダー free-rider の問題）
2. 現実的な対策 —— 最適配分実現の保証はない。
 - a. 料金の強制徴収
 - b. 投票

参考文献

教科書．第 11 章，第 III 節．